

# 平成20年度 施政方針の内容

## 平成20年度 施政方針



平成19年度に各漁業協同組合が策定する地域営漁計画は、漁場の効率的な利用、担い手の育成確保などについて具体的に取組むこととなっています。消費者への直接販売など新たな販路拡大を推進するため、漁協ホームページの開設などIT時代に対応した取り組みを支援します。また、山田魚市場の活性化を図るため、山田魚市場外来漁船誘致協議会の活動を引き続き支援していきます。

水産物の安定供給と衛生管理

平成20年第1回山田町議会定例会が開催されるに当たり、20年度の町政運営の基本的な考え方ならびに主要な施策について申し上げます。

本年度は、第8次山田町総合発展計画・前期基本計画の中間年次であります。町民と行政との協働によって元気のある暮らしやすい山田をつくり育てていくため「自主・自律・協働」のまちづくりを基本理念として「みんなで創るひとと産業が元気なまち山田」を目標に引き続き努力してまいります。

20年度の予算は地方交付税の減少傾向に歯止めがかかり微増する見通しですが、堅実な財政運営のため①歳出を前年度以下に抑制する②財政計画と整合する第8次総合発展計画については必要な財源の確保を図る③町債借入額はプライマリーバランスの均衡に努める――など限られた財源の効率的な運用と的確な予算配分、経常経費の圧縮・節減による財源不足額の縮小を基本方針に編成しました。

以下、第8次山田町総合発展計画に掲げる領域に従い、20年度の施策について述べてまいります。

商工会が取り組む経営改善普及事業、地域総合振興事業を含む事業運営を支援していきます。

山田の魅力発信実行委員会が行う同事業の活動は、カキまつりやオランダ島まつり、秋祭りなど町の魅力を広く町外に発信し、本町のPRや観光客の誘致に大きな役割を果たしており、引き続き支援していきます。また「マリン・ツーリズム山田」とタイアップし、優れた自然環境と地域資源を有効に活用した体験型観光を推進します。

雇用環境は依然として厳しい状況が続いていますが、宮古公園

### 環境にやさしい快適な生活基盤の整備で元気創造をめざすまち

## 長林大浦線は本年度完成目指す

12月に地権者への計画説明会が行われました。今後も三陸国道事務所と連携をとりながら、事業実施に努力していきます。

県道については、県都盛岡に通じる最短ルートとして重要な路線である宮古山田線の豊間根地内の早急な整備、主要地方道重茂半島線の改良などを引き続き県に要望します。

町道細浦柳沢線については、県代行事業として実施されるよう県知事に直接現地を案内し要

### 地域の特性を生かした産業振興で元気創造をめざすまち

## 産業活性化へ協議会を設立

平成19年度に各漁業協同組合が策定する地域営漁計画は、漁場の効率的な利用、担い手の育成確保などについて具体的に取組むこととなっています。消費者への直接販売など新たな販路拡大を推進するため、漁協ホームページの開設などIT時代に対応した取り組みを支援します。また、山田魚市場の活性化を図るため、山田魚市場外来漁船誘致協議会の活動を引き続き支援していきます。

水産物の安定供給と衛生管理

農林業については、いわて希望農業担い手応援事業により、リンドウ苗の購入や栽培用資材、ほうれん草などの簡易パイプハウスや生産管理機械の整備を支援します。全国的に評価の高い乾いたけ生産を推進するため、椎茸生産組合が実施するほだ木造成、散水施設、乾燥施設の整備を支援します。また、森林の荒廃を抑止するため、森林整備地域活動支援交付金事業で間伐の森林施業を推進します。

厳しい時代に希望を持って前進  
町政推進に全力尽くすこと誓う

平成20年第1回山田町議会定例会が2月18日から3月7日まで開かれ、20年度の一般会計予算などが原案どおり可決されました。初日には沼崎喜一町長が第8次山田町総合発展計画の6つの柱を基本に、本年度の基本方針を述べました。今号では、施政方針の内容と20年度予算の中身の一部をご紹介します。（9ページまで）

平成20年第1回山田町議会定例会が開催されるに当たり、20年度の町政運営の基本的な考え方ならびに主要な施策について申し上げます。

本年度は、第8次山田町総合発展計画・前期基本計画の中間年次であります。町民と行政との協働によって元気のある暮らしやすい山田をつくり育てていくため「自主・自律・協働」のまちづくりを基本理念として「みんなで創るひとと産業が元気なまち山田」を目標に引き続き努力してまいります。

20年度の予算は地方交付税の減少傾向に歯止めがかかり微増する見通しですが、堅実な財政運営のため①歳出を前年度以下に抑制する②財政計画と整合する第8次総合発展計画については必要な財源の確保を図る③町債借入額はプライマリーバランスの均衡に努める――など限られた財源の効率的な運用と的確な予算配分、経常経費の圧縮・節減による財源不足額の縮小を基本方針に編成しました。

以下、第8次山田町総合発展計画に掲げる領域に従い、20年度の施策について述べてまいります。

